

CAFÉ

DISTINCT BY DESIGN™

It's time appliances had a personality. Yours.



Grind and Brew

取扱説明書

カフェをご購入いただきありがとうございます。

私たちは、すべてのCafé製品に込められた職人技、革新性、そしてデザインに誇りを持っており、お客様にもきっとご満足いただけると確信しております。

C A F É











DISTINCT BY DESIGN™

目次








モデル: C7CGAAS

安全上のご注意	4
各部の名称	8
操作パネル	9
はじめに	10
初めてご使用になる前に	11
チャコールウォーターフィルターの取り付け	11
コーヒー豆ホッパーへの豆の追加	12
ウォータータンクへの水補給	12
おいしいコーヒーの淹れ方	13
コーヒー豆を挽く	13
濃さを選ぶ	14
抽出	15
抽出温度	16
抽出量	16
抽出開始時間変更(タイマー)	17
挽いたコーヒーで淹れる	17
時計の設定	18
お手入れとクリーニング	19
故障かなと思ったら	21
保証とアフターサービスについて	24















安全上のご注意(必ずお読みください)

 警告	人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される内容
 注意	人が傷害または物的損害の発生が想定される内容
 禁止	してはいけない「禁止」の内容
 一般的な禁止	 分解禁止
 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止
 必ず実施	必ず実行していただく「強制」の内容
 必ず実施する	 電源プラグを抜く





警告

 分解禁止	分解、改造、修理をしない 分解、改造、修理は絶対にしないでください。火災・感電・けがの原因となります。 修理はお買い上げの販売店、またはアフターメンテナンス依頼フォーム(P24記載)よりご相談ください。
 禁止	異常等があるときは使わない 異常(煙が出る、異音がする、異臭がする等)があるとき、または落下等により破損したときは電源プラグを抜いて本機の使用をおやめください。そのまま使用を続けると火災・感電の原因になります。
 必ず実施	交流100V・定格15Aのコンセントを単独で使用する 交流100V以外の電源を使用すると火災・感電の原因になります。 コンセント・配線器具の定格を超える使い方や、延長コードなどによるタコ足配線をしないでください。発熱による火災の原因になります。(船舶や自動車の直流電源では使用できません)
 禁止	次のように、電源コードが破損するようなことをしない ・ねじる ・引っ張る ・無理に曲げる ・束ねる ・加工する ・重いものをのせる 火災・感電の原因になります。
 禁止	電源プラグや電源コードが傷んでいるときは使用しない 感電・ショート、発火の原因になります。
 ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き挿ししない 感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	電源コード、電源ランプを水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因になります。







警告

 必ず実施	電源プラグは根元まで確実に差し込む 不完全な差し込みの場合、感電・火災の原因になります。
 必ず実施	定期的に電源プラグのほこり等を、乾いた布で取り除く 汚れたまま放置すると絶縁不良が起こり、火災の原因になります。 取り外して掃除できないため、電源プラグを差し込み口から抜いてください。
 禁止	差し込みがゆるいコンセントは使用しない 感電・発火の原因になります。
 禁止	雷が鳴り出したら電源プラグに触らない 感電の原因になります。
 禁止	電源プラグをなめない、なめさせない 特に乳幼児には触れさせないように注意してください。感電・けがの原因になります。
 プラグを抜く	お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く けが・やけどの原因になります。
 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしない 本機は防水ではありません。回路内部のショートや発熱により感電・火災の原因になります。
 禁止	包装用のポリ袋は幼児の手の届かないところに廃棄する 頭からかぶると窒息の危険があります。
 禁止	乳幼児の手の届く範囲で使用しない 感電・けがの原因になります。
 禁止	落としたり、衝撃を加えたりしない 感電・故障の原因になります。
 禁止	金属物などの異物を隙間に入れない 隙間などから金属物などの異物を入れないでください。 機械内部のショートや故障により、火災・感電の原因になります。
 禁止	可燃性または湿気が多い環境で製品を使用しない 火災・故障の原因になります。
 禁止	熱器具の近くに置かない 変形や火災の原因になります。
 必ず実施	パッキンなどの付属品は必ず取り付けて使用する やけど・けが・故障の原因になります。













警告

 <p>必ず実施</p>	<p>製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する 製品に異常が発生したまま使用を続けると発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。</p> <p><異常・故障例></p> <ul style="list-style-type: none">・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形・変色・損傷している・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする・本体が動作しない など <p>上記のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはアフターメンテナンス依頼フォームより(P24記載)点検・修理を依頼してください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>コーヒー抽出以外の用途に使用しない やけど・けが・故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>断熱カラフェ、抽出チャンバー、メッシュフィルター、シャワーヘッドをセットせずに使用しない やけど・けがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ブレードに直接さわらない けがの原因になります。</p>

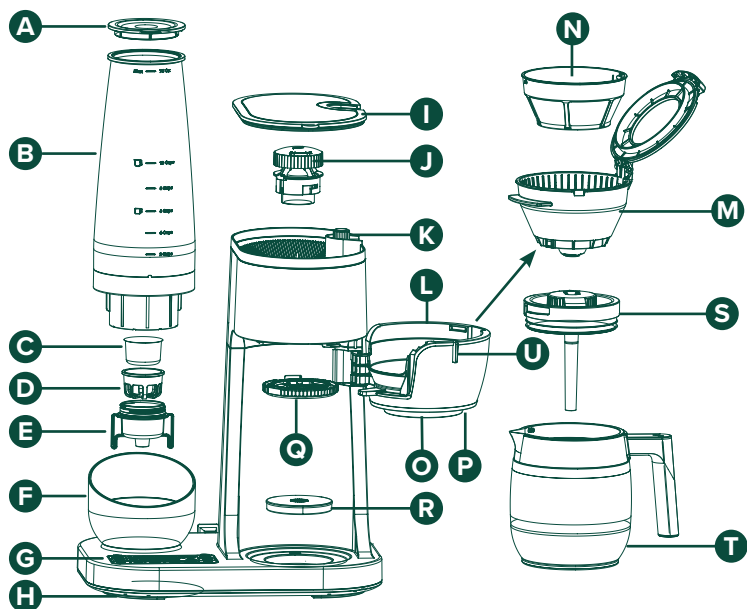
注意

 <p>禁止</p>	<p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない 転倒や落下による火災・けが・故障の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。 ・毛足の長いじゅうたん・ふとん・プラスチック樹脂・スライド式テーブルの上 など</p>
 <p>禁止</p>	<p>ストーブやガスコンロなど熱源、火気の近くで使用しない 変形・故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>屋外で使用しない 故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>水のかかりやすい場所や本体の底部がぬれるような場所に置いて使用しない ショート・感電・故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>壁や家具の近くで使用しない 蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>直射日光の当たるところでは使用しない 変色の原因になります。</p>

⚠ 注意

 プラグを抜く	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く 使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
 禁止	使用中や使用後しばらくは高温部に直接触れない 高温部に触れるとやけどの原因になります。必ずミトンやぬれふきんを使用してください。
 必ず実施	お手入れは本体が冷えてからおこなう 高温部に触れるとやけどの原因になります。
 禁止	空焚きをしない 変形・故障の原因になります。
 禁止	付属品を電子レンジ・オープン・オープンレンジなどで使用しない 破損・変形の原因になります。
 禁止	パッキンなどは付属品以外のものを使用しない 破損・故障の原因になります。
 禁止	抽出中にバスケットタブやカラフェに触らない やけど・けがの原因になります。
 禁止	断熱カラフェを直火にかけない ガラスが割れたりハンドルが変形してやけど・けが・破損の原因になります。
 禁止	給水タンクに水以外のものを入れたり沸かしたりしない 故障・焦げつきの原因になります。
 禁止	豆ホッパーにコーヒー豆・粉以外のものを入れない 故障の原因になります。
 禁止	ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は掃除をこまめにする 本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、本体内部のパイプをふさいだり、蒸気口をふさいだりして故障の原因になります。
 禁止	使用後はお子様の手の届く場所に保管しない 思わぬ事故やけがの原因になります。

各部の名称



A ウォータータンクフタ

B ウォータータンク

C チャコールウォーターフィルター

D チャコールウォーターフィルターケージ

E チャコールウォーターフィルターカートリッジ
(パッキン2本付属)

F ウォータータンクベース

G 操作パネル

H 電源コード(下側)

I コーヒー豆ホッパーフタ

J ミル刃

K 挽き目調整ダイヤル

L 抽出チャンバー(取り外し不可)

M ドリッパー

N 大容量メッシュフィルター
(少量用メッシュフィルター付属)

O ブリュエ注ぎ口

P 切替スイッチ

Q シャワーヘッド

R トレイ

S カラフェ蓋

T 断熱カラフェ

U 抽出バスケットタブ

操作パネル



A 時間ボタン

「時間」ボタンを押すと、時計の時間表示を編集できます。ボタンを長押しすると、より速く切り替わります。

B 分ボタン

分ボタンを押すと、時計の分表示を編集できます。ボタンを長押しすると、より速く分が切り替わります。

C 電源ボタン

電源ボタンを押してディスプレイのオン/オフを切り替えます。

D 温度ボタン

温度ボタンを押すと、85°Cから96°Cまで1度ずつ温度を変更できます。このボタンを長押しすると、華氏と摂氏の温度表示が切り替わります。

E マグボタン

マグボタンを押すと、抽出量を6オンス～24オンスまで(2オンス単位で)変更できます。ウォーターフィルターリマインダーが点灯している場合は、ディスプレイにウォーターフィルターを交換した後、マグボタンを長押ししてリマインダーをリセットします。

F カラフェボタン

カラフェボタンを押すと、抽出量を4杯から10杯まで(1杯単位で)変更できます。ディスプレイに水垢除去リマインダーが点灯したら、カラフェボタンを長押しして水垢除去プロセスを開始してください。

G 濃さボタン

抽出の強さを設定するには、「濃さ」ボタンを押してください。「ライト」、「ミディアム」、「ボールド」、「ゴールド」(SCA認証の抽出強度設定)からお選びいただけます。

H 抽出ボタン

Brewボタンを押すと抽出サイクルが開始されます。抽出をキャンセルするには、ボタンを3秒間押し続けます。

I 抽出開始時間変更ボタン

遅延抽出ボタンを押すと、抽出サイクルを未来の時刻に設定または編集できます。遅延抽出を設定したら、必要に応じてこのボタンを3秒間押し続けると抽出をキャンセルできます。

J 粉碎オフボタン

このボタンを押すと、ミルがオフになり、挽いたコーヒー豆を淹れることができます。ミルがオフになるとLEDライトが点灯します。ミルをオンにするには、もう一度押す必要があります。長押しすると、ミルのクリーニングモードが始まります。

はじめに

カフェ スペシャルティ グラインド アンド プリュー コーヒー メーカーで、極上で最も新鮮なコーヒーを淹れて、ご自身とゲストを喜ばせましょう。このコーヒー メーカーは、ステンレス製の調節可能な円錐形のミル刃を備えた初のドリップコーヒー メーカーで、スペシャルティ コーヒー協会の「ゴールド カップ プリューワー」に認定されています。SCA は、コーヒー科学の専門家と、良質のコーヒーに情熱を注ぐプロのコーヒーテイスターで構成されています。抽出温度、抽出時間、総溶解固形分など、SCA の厳格な要件リストを満たしたカフェスペシャルティ グラインド アンド プリュー コーヒー メーカーは、淹れるたびにまさに美味しい一杯をお届けします。内蔵のステンレス製の円錐形のバー グライNDERで、淹れるたびに挽き具合を調整できるので、お好みの豆や風味の好みにぴったりの挽き具合を実現できます。細挽きから粗挽きまで6段階の挽き具合からお選びいただけます。

朝のルーティンに10杯淹れるのも、午後の贅沢に1杯楽しむのも、挽きたての豆の風味を存分にご堪能ください。

初めてご使用される前に

設置上のご注意

- 本製品は屋内に設置し、家庭用としてのみ設計されています。コーヒーメーカーを屋外で使用しないでください。
- 製品は、水平で平らな面に垂直に設置する必要があります。水を満たした状態で全体の重量を支えます。
- 周囲温度が一定(13°C~32°C)で風通しの良い場所に設置してください。
- オープンやコンロなどの熱源の近くに置かないでください。
- 色褪せを防ぐため、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- 子供や動物が製品に触れないようにしてください。

コーヒーメーカーの使用準備

- ① 梱包材を慎重に取り除きます。内容物にダメージを与えるような、鋭利な工具は使用しないでください。
- ② すべての部品が揃っていることを確認してください。不足している部品がある場合は、弊社までご連絡ください。
- ③ プラグを抜いた状態でコーヒーメーカーを平らで水平な場所に立てて置きます。
- ④ 外側を温かい布で拭きます。メッシュフィルター、抽出バスケット、カラフェは温かい石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。研磨剤入りの洗剤、スポンジ、布は使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。すすいだ後、よく乾かしてください。コーヒーメーカーの部品は食器洗い機で洗えません。
- ⑤ コーヒーメーカーをコンセントに差し込みます。最初に差し込むと、時計が午前12時を表示し点滅します。

初めてご使用される前に

チャコールウォーターフィルターの取り付け

カフェスペシャルティグラインド&ブリュアーコーヒーメーカーには、水に含まれる沈殿物を除去するためにチャコールフィルターのご使用をお勧めします。これにより、コーヒーメーカーの性能を最大限に引き出すことができます。

- 1 チャコールウォーターフィルターをパッケージから慎重に取り出し、冷水ですすいでください。

注意：最初の使用前にチャコールウォーターフィルターを冷水で洗い流してください。そうすることで、緩んだ炭の粒子を除去するのに役立ちます。

- 2 ウォータータンクをベースから取り外してください。(図1参照)

- 3 チャコールウォーターフィルターカートリッジを外す

カートリッジはウォータータンクの底部にあります。翼状のキャップを手で反時計回りに90度回して開けてください。(図2参照)

- 4 チャコールウォーターフィルターを丸い底を下にして、チャコールウォーターフィルターカートリッジに差し込みます。(図3参照)

- 5 フィルターを取り付けたら、チャコールウォーターフィルターカートリッジをウォータータンクの底に戻します。翼付きキャップを時計回りに90度回してカートリッジを固定します。

カートリッジを締めすぎないでください。(図4参照)

- 6 ウォータータンクベースに戻します。

注：チャコールウォーターフィルターは2ヶ月ごと、またはディスプレイ画面に「Water Filter」が表示されたら交換することをお勧めします。この表示は95リットルの抽出ごとに表示されます。

チャコールウォーターフィルターを再注文する際には弊社ホームページにてご購入いただけます。

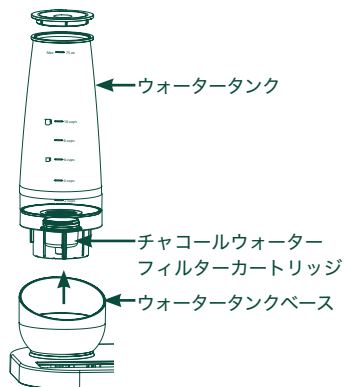


図1

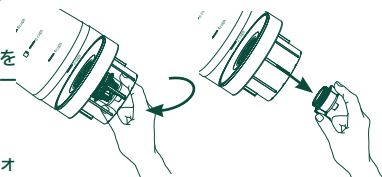


図2

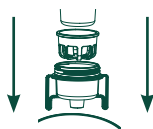


図3

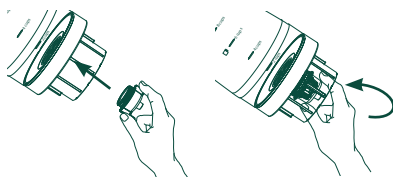
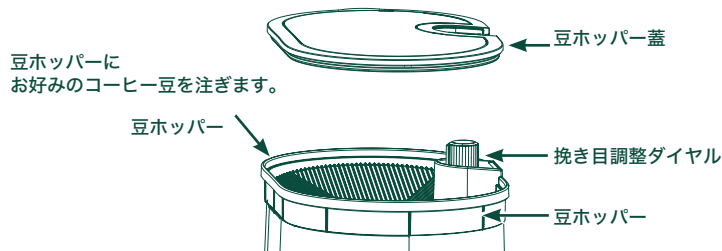


図4

初めてご使用される前に

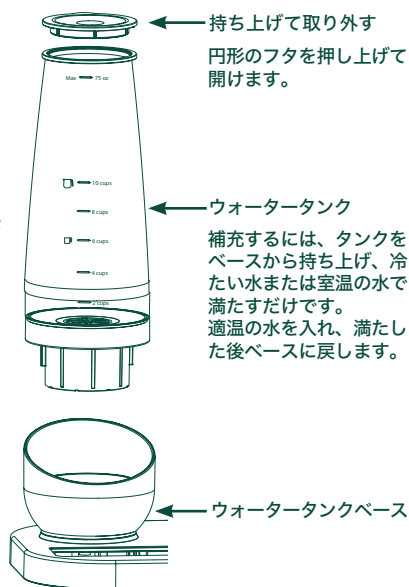
コーヒー豆ホッパーに豆を入れる

- ① 正面のタブを使って豆ホッパーの蓋を持ち上げて取り外します。真空シールが付いているため、初めて開ける際は少し力が必要になる場合があります。
- ② お好みの豆を豆ホッパーに入れます。豆が均等に底面を覆うように広げます。
- ③ 豆を追加したら、豆ホッパーの蓋を元に戻し、しっかりと押し下げて固定します。
- ④ ダイヤルを回して、好みの挽き具合に調整します。最適な抽出を実現する「3」をおすすめします。



ウォータータンクへの水補給

- ① ウォータータンクをウォータータンクベースからゆっくりと持ち上げて、コーヒーメーカーから取り外します。
- ② ウォータータンク本体から、蓋を取り外します。
- ③ ウォータータンクに冷水または室温の水を希望の量まで入れます。
- ④ ②の蓋を閉める。
- ⑤ ウォータータンクを元に戻します。



おいしいコーヒーの淹れ方

カフェスペシャルティ グラインド&ブリューコーヒーメーカーは、極上のコーヒーを淹れるために設計されていますが、美味しいコーヒーは新鮮な豆から始まります。焙煎したての高品質なホールビーンコーヒーの使用をお勧めします。「焙煎日」がラベルまたは袋に印刷されているコーヒーをお探してください。コーヒーは時間の経過とともに香りと風味が失われていくため、最高の一杯をお楽しみいただくには、まず新鮮な豆を選ぶことから始めましょう。

1 好きな豆をお選びください。 個人の好みに応じてローストを選択してください。



ライトロースト：コクが少なめ、酸味が強く、ローストの香りは少なめです。



ミディアムロースト：ライトローストよりも甘みが強く、コクがあり、酸味、香り、複雑さのバランスがより優れています。伝統的なアメリカンミディアムローストよりも滑らかですが、本来のコーヒー特有の味わいはやや控えめです。



フルロースト：ややスパイシー。複雑な味わいは、より重厚なコクや口当たりに感じられます。焙煎のアロマと風味がより際立ちます。

ダークロースト：スモーキーで甘い。軽めのコクながらも、非常に濃厚。豆本来の風味は全く感じられません。

浅煎りのコーヒーは、抽出を早めるために少し高めの温度で淹れましょう。深煎りのコーヒーは、過抽出を避け、苦味を最小限に抑えるために低めの温度で淹れましょう。

2 抽出温度を選択します。



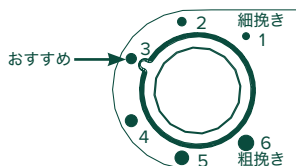
当社のカフェスペシャルティ グラインド アンド ブリュー コーヒー メーカーを使用すると、抽出温度を85°Cから96°Cの間で正確かつ精密に調整できます。ゴールドカップの設定を選択すると、抽出温度はスペシャルティコーヒー協会の基準に従ってデフォルトで93°Cに設定されます。

挽き目を選ぶ際、細かい挽き目は表面積が大きいため、簡単に過剰抽出になりやすいです。

挽き方が細かすぎると抽出が過剰になり、苦味や灰臭が残り、口当たりが濁ってしまいます。

3 挽き方を選択します。

SCA ゴールド カップの抽出には、中程度の挽き具合（挽きレベル 3 または 4）が推奨されます。



一方、挽き方が粗すぎると、抽出液が水っぽくなったり酸っぱくなったりして、甘みや複雑さが欠けてしまいます。

SCA ゴールド カップの抽出には、中程度の挽き具合（挽きレベル 3 または 4）をお勧めします。

おいしいコーヒーの淹れ方

4 お好みの濃さを選ぶ

GOLDまたは滑らかでリッチな
フレーバーミディアム。



GOLD :

スペシャルティコーヒー協会 (SCA) 認定の、完璧なバランスを実現した最適化された抽出方法です。このセレクションでは、SCAの厳格な基準を満たし、総溶解固形分 (TOS) と抽出率の要件を満たすコーヒーを抽出します。GOLDでは温度調節はできません。

LIGHT :

酸味を少し強めにし、より軽い風味を出すように作られた抽出です。

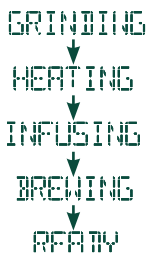
MEDIUM :

やや甘めで、より滑らかなコクと、オリジナルのコーヒーの独特の特徴を備えたバランスの取れた抽出です。

BOLD :

より強い香りと、オリジナルの焙煎のより明確な要素を備えた、コクがあり風味豊かなコーヒーです。

5 抽出を開始します。



お好みの抽出方法を選択したら、抽出ボタンを押して抽出を開始します。画面には抽出プロセスの各段階が表示されます。抽出開始、粉碎、加熱、注入、抽出、準備完了です。抽出プロセスは開始から終了まで約4〜6分かかりますが、時間は挽き具合、抽出量、抽出温度によって異なります。

6 お気に入りの抽出を保存して、楽しんでください!

Favorites



注意:標高 5,000 フィート(1524m)を超える高地で抽出する場合は、GOLDより濃い設定を使用しないでください。

抽出

濃さ

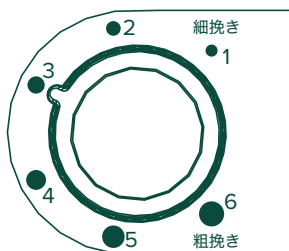
抽出の濃さをカスタマイズするには、「Strength(濃さ)」ボタンを押してください。「Strength(濃さ)」ボタンを押し続けると、濃さの選択肢が切り替わります。「ライト」、「ミディアム」、「ボールド」、「ゴールド」(SCA認証の濃さ設定)からお選びください。



注意： 必要に応じて濃さボタンを長押しすると、ピープ音をオンまたはオフにすることができます。

粉碎サイズ

挽き具合を調整するには、豆ホッパーの横にあるダイヤルを回して、細挽きから粗挽きまでの6段階の挽き具合を選択します。



注意：風味と抽出のバランスをとるために、3～4に挽くことをお勧めします。

抽出

温度

抽出温度を調整するには、Temp(温度)ボタンを押してご希望の温度に変更します。Temp(温度)ボタンを長押しすると、温度表示の単位が華氏と摂氏で切り替わります。

Temp
ボタンを
押します



抽出量

このコーヒーマーカーは、カラフェモードで4~10カップ、またはマグ(Mug)モードで6~24オンスのコーヒーを淹れることができます。1オンスは約30mlです。

カップで抽出量を選択するには、カラフェボタンを押して4~10カップのサイズを選択します。

マグモードの場合は、少量用メッシュフィルターに変更し、マグボタンを押して6~24オンス(177~710ml)の抽出量を選択します。マグカップをコーヒー注ぎ口の下に置き、コーヒー注ぎ口の近くにあるスライドレバーを「Mug」の位置に回します。



カラフェボタンを押す



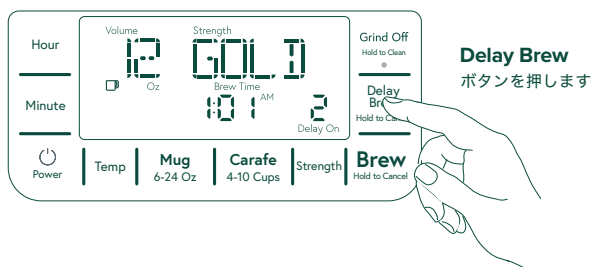
マグボタンを押す

抽出

抽出開始時間変更(タイマー)

抽出時間を後で設定するには、「Delay Brew (抽出開始時間変更)」ボタンを押します。抽出開始時間変更がオンになったら、「Hour (時)」と「Minute (分)」ボタンを押して抽出時間を設定し「Brew」ボタンを押します。3秒間押し続けると、オンにした抽出開始時間変更がキャンセルされます。

抽出開始時間変更機能は、コントロールディスプレイに表示されている現在の容量、濃さ、温度で抽出します。これらの設定は、後で予定されている抽出開始の時間までいつでも変更できます。



設定

挽いたコーヒーで淹れる

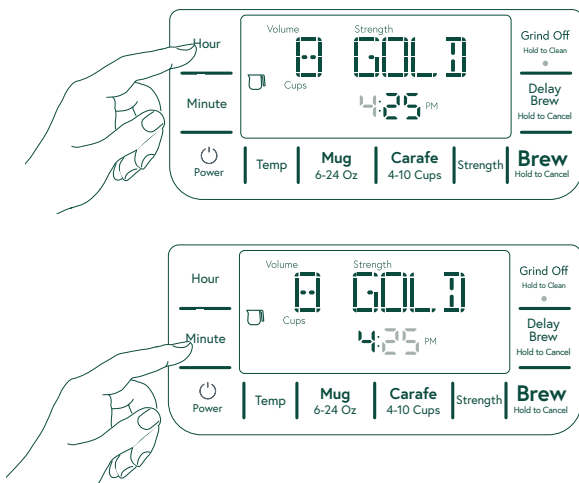
このコーヒーメーカーには、ステンレス製の円錐型グラインダーが内蔵されており、最高の一杯をお楽しみいただけます。グラインダーの電源をオフにしてバイパスすることも可能ですので、お好みの挽き立てコーヒーをお楽しみいただけます。グラインダーをOFFにする(バイパスする)には、Grind Offボタンを押してください。グラインダーの電源が切れると、ディスプレイに「Grind Off」の通知が点灯し、Grind Offボタンのライトが点灯します。グラインダーはオフに設定されており、もう一度押してオンにしない限り、オフの状態のままです。



設定

時計を設定する

時計を設定するには、「Hour」または「Minute」ボタンを押します。数字が点滅し、変更開始を示します。ボタンを押し続けると、数字の変更が開始されます。ボタンを長押しすると、より早く切り替わります。



お手入れとクリーニング

▲注意

掃除する前に必ずコーヒーマーカーのプラグを抜いてください。

コーヒーマーカーの外側の掃除

コーヒーマーカーの外側は、柔らかく湿らせた布で拭いてください。ペーパータオルや研磨剤入りの布、スポンジ、研磨剤入りの洗剤は、表面を傷つける可能性があるため、使用しないでください。

ドリッパーとメッシュフィルターのクリーニング

メッシュフィルターとドリッパーを取り外します。残ったコーヒーの粉は捨ててください。抽出後は、メッシュフィルターとドリッパーを流水ですすいでください。よりきれいに洗浄するには、温かい石鹸水と柔らかい毛のブラシで洗ってください。これらの部品は食器洗い機では洗えません。

カラフェの洗浄

使用後は毎回カラフェを空にしてください。カラフェと蓋はぬるま湯ですすいでください。カラフェにコーヒーを入れたまま一晩放置すると、シミになることがあります。よりきれいにするには、ぬるま湯と中性洗剤を使い、柔らかい毛のブラシで定期的に洗ってください。研磨剤入りの洗剤は表面を傷つける可能性があるため、使用しないでください。よくすすいで乾かしてください。

カラフェと蓋は食器洗い機では洗えません。

ミルの清掃

ミルシューターを掃除するには、「Grind Off」ボタンを長押ししてクリーンモードにして掃除を開始します。ドリッパーを開き、カラフェを置く部分にキッチンタオルを敷き、ブラシを使ってシュート内に溜まったコーヒーの粉を拭き取ります。

上刃を洗浄するには、まずミルにコーヒー豆がないことを確認し、取り外し可能な刃をミルから取り外します。ブラシを使ってミルを清掃し、取り外し可能な刃を元の位置に戻します。矢印がロック位置を指すまで時計回りに回して固定します。

注意：刃がロック位置に固定されていない場合、マシンはコーヒーを抽出しません。

チャコールウォーターフィルターを交換する

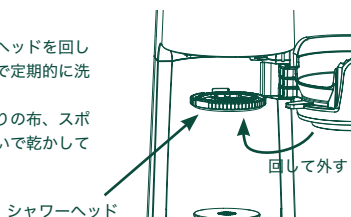
チャコールウォーターフィルターは2ヶ月ごと、またはディスプレイ画面に「Water Filter」と表示されたら交換することをお勧めします。これは95リットルの抽出ごとに表示されます。

チャコールウォーターフィルターの交換方法については、11ページを参照してください。

シャワーヘッド

抽出チャンバーを開け、抽出チャンバーの下にあるシャワーヘッドを回して外し、柔らかい毛のブラシを使って、ぬるま湯と中性洗剤で定期的に洗ってください。

表面に傷が付く恐れがあるので、ペーパータオルや研磨剤入りの布、スポンジ、研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。よくすすいで乾かしてください。



お手入れとクリーニング

チャコールウォーターフィルターをリセット

95リットルの水を抽出すごとに、Water Filterの通知が点灯します。

Water Filterの通知が点灯したら、チャコールウォーターフィルターを交換し、マグボタンを長押ししてリマインダーをリセットしてください。ウォーターフィルターパックは、弊社のホームページよりご購入いただけます。



水垢除去

カラフェボタンを3秒間押し続けると、グランド&ブリューの水垢除去が行えます。Descalingの通知が画面に表示されたり、ウォータータンクに水が入っているのに抽出中に給水アラートが点灯したままになる場合は、硬水の蓄積により、ヒーターの加熱効率が低下していることを示しています。水垢除去プロセスにより、コーヒーマーカーの内部部品が洗浄され、硬水の蓄積を防ぎ、マシンの最適なパフォーマンスが確保されます。

水垢除去アラートがオンになったら、カラフェボタンを長押しすると水垢除去プロセスが開始されます。画面には「10カップ分の水垢除去剤を入れてBrewボタンを押してください」というメッセージがスクロール表示されます。※水垢除去剤は市販のものをご使用下さい。

抽出が始まると、水垢除去プロセスのための1時間のカウントダウンタイマーが開始されます。タイマーのカウントダウン中は、「Descaling」という文字が画面にスクロール表示されます。1時間のスロー抽出プロセスが完了すると、画面に「カラフェを空にして10カップの水を抽出してください」とスクロール表示されます。コーヒーカラフェを空にし、ウォータータンクをすすぎ、10カップの新しい水を注いでください。

Brewボタンを押して通常の抽出プロセスを実行し、システムを洗浄してください。これは水垢除去の最終ステップです。システム是水垢除去通知をオフにし、水垢除去リマインダーをリセットして、スタンバイ状態に戻り、すぐに使用できるようになります。

水垢除去プロセスは、Brewボタンを押し続けることでキャンセルできますが、水垢除去はリセットされません。



▲注意

その他のサービスは、認定されたサービス担当者が行う必要があります。

故障かなと思ったら

こんなとき	原因	対処方法
「Add Water」 “水を加える” が表示される	ウォータータンクが完全に空になっているか、底部のメッシュフィルターの詰まっています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウォータータンクに水を入れ、ベースに置きます。抽出ボタンを押すと、抽出が再開されます。 2. 給水口とウォータータンク底部のメッシュフィルターを確認し、プラスチック、ゴミ、ミネラルなどの堆積物がいないことを確認してください。もしあれば取り除いてください。 3. ウォータータンクに水が満たされているのに、「水を追加してください」という警告が表示される場合は、硬水によるミネラル沈殿物の蓄積によりヒーターの加熱効率が低下している可能性があります。適切な水垢除去剤をご使用の上、カラフェボタンを長押しして水垢除去プロセスを開始してください。 4. 上記の手順を実行しても問題が解決しない場合は、コーヒーマーのプラグを抜き、弊社に連絡してサポートを受けてください。
「Basket Slider」 “バスケットスライダ” が表示される	これはリマインダーです。抽出前にバスケットスライダを希望の位置に回転します。	このアラートは、ユーザーに抽出バスケットスライダを回転させるのを促すものです。カップやトラベルマグに抽出する前に、抽出バスケットをシングルサーブの位置に設定してください。そうすることで、ドリップストップバルブが開いたままになります。抽出後は、ドリップを止めるために、バスケットスライダをカラフェの位置に戻すことをお勧めします。
「Empty Brew Basket」 “抽出バスケットが空” と表示される	前回抽出後、そのままの状態の為、残ったコーヒークスを取り除く必要があります。	抽出バスケットを開けて、中身を空にしてください。次の抽出の前に、抽出バスケットを元に戻して閉じてください。
「Check GRINDER」 “チェックグラインダー” が表示される	取り外し可能なミル刃が検出されず、グラインダーがオンに設定されている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 取り外し可能なミル刃を確認し、取り付けられていることを確認します。前面にあるロックアイコンに合わせてください。しっかりと取り付けられると、「Check GRINDER」アラートは消えます。必要に応じて抽出サイクルを再開します。 2. エラーメッセージが引き続き表示される場合は、ミルをオフにしてバイパスすることで、挽いたコーヒードリフトで抽出できます。「Grind Off」ボタンを押してください（ディスプレイに「Grind Off」の通知が表示され、「GrindOff」ボタンのドットライトが点灯します）。次の抽出サイクルでミルの電源をオフにするには、このボタンを押してください。
「Check Brew Basket」 “抽出バスケット” が表示される	抽出バスケットが抽出中に開いているため、一時停止されます。	抽出バスケットがしっかりと閉じられていることを確認してから、「Brew」を押して抽出を再開します。

故障かなと思ったら(つづき)

こんなとき	原因	対処方法
「Add Beans」が表示される	ミル中、コーヒー豆を検知できていません。	ミル中にコーヒー豆が供給されていないことを示します。ホッパー内に豆が入っているが、ミル刃に供給されていないときに、この警告が表示されることがあります。コーヒー豆を加えるかかき混ぜて、豆がミル刃に吸い込まれるようにするようにしてください。特に深煎りの油分の多いコーヒー豆の場合は注意が必要です。油分の多いコーヒー豆同士のくっつきを防ぐため、中煎りのコーヒー豆を使用するか、深煎りのコーヒー豆に中煎りのコーヒー豆を混ぜることをお勧めします。その後、抽出ボタンを押してミルを再開します。 この機能は、マグボタンとカラフェボタンを 3 秒間押し続けることでオフにできます。
「Water Filter」が表示される	これはチャコールウォーターフィルターを交換するためのリマインダーです。95リットルのコーヒーを淹れるごとにチャコールウォーターフィルターを交換してください。	1. 使用済みのチャコールウォーターフィルターを取り外し、新しいフィルターと交換します。新しいフィルターは、弊社ホームページからご注文いただけます。 2. マグボタンを長押ししてリマインダーをリセットします。
「Descale」が表示される	これは、水垢除去リマインダーです。284リットルのコーヒーを淹れた後は、水垢除去をお勧めします。水垢除去は、マシンの性能と淹れたコーヒーの風味に影響を与える可能性のあるミネラルの堆積物を分解・除去します。	マニュアルの水垢除去セクションの手順に従って、水垢除去プロセスを完了します。
「Check WATER」が表示される	ウォータータンクが、完全に空になっているか、タンクの底にあるメッシュフィルターが詰まっています。	1. ウォータータンクに水を入れ、ベースにセットします。抽出ボタンを押すと、抽出が再開されます。 2. 給水口と底部のメッシュフィルターを確認します。ウォータータンクの底を清掃し、プラスチック、ゴミ、鉱物などの堆積物がないことを確認してください。もしあれば取り除いてください。 3. 水垢除去サイクルを実行して、ミネラルを除去します。 4. 上記の手順を実行しても問題が解決しない場合は、コーヒーメーカーのプラグを抜き、弊社にお問い合わせください。
ミル後の抽出バスケット内のコーヒー粉が少ない	グラインダーシュート（ミルの下の溝で、コーヒーの粉を抽出バスケットに送る部分）が詰まっている可能性があります。	スタンバイ状態で、Grind Offボタンを長押ししクリーンモードにして、ディスプレイの指示に従って、ブラシを使ってミルチャンバーの底からミルシュートを清掃してください。抽出バスケットを開けた後は、シュートからこぼれたコーヒーかすをキャッチするために、カラフェを置く部分にキッチンタオルを敷くことをお勧めします。

故障かなと思ったら(つづき)

こんなとき	原因	対処方法
抽出プロセス中にミルが動作しない	ミルをオフに（バイパス）することができます。	Grind Offになっていないことを確認してください。
「ERROR」が表示される		弊社にお問い合わせください。

保証とアフターサービスについて

お客様に安心して製品をご使用いただくため、
当社では明確な保証制度とアフターサービス体制を整えております。

保証期間と修理対応

製品の保証期間は日本国内でのご使用に限り、ご購入日より1年間となります。期間内に正常な使用状態で故障が発生した場合、保証書および購入証明書のご提示により無償修理を承ります。
保証期間を過ぎた製品につきましては、有償にて修理対応いたします。

- ※1. 保証期間内でも故意、過失につきましては有料修理となる場合もございます。
 - ※2. 消耗品については保証期間内でも有償となります。
- あらかじめご了承ください。

修理のご依頼方法

異常を感じた際は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いてください。
その後、販売店またはアフターメンテナンス依頼フォームよりご連絡ください。

修理品の送付先については、お電話またはホームページをご確認ください。

修理品を送付される際は、故障の状況を記載したメモと、保証書(保証期間内の場合)を必ず同封してください。

補修部品の保有期間

製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後または最終輸入日を起点に5年間保有しております。

部品の仕様や外観が予告なく変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取り扱い

修理やお問い合わせ対応に際して、お客様の個人情報を記録・利用させていただく場合がございます。
これらの情報は、業務委託先や法令に基づく場合を除き、第三者に提供することはありません。

アフターメンテナンス

アフターメンテナンスについては、ご購入の販売店または下記の受付フォームよりご連絡ください。

Café Webサイト メンテナンス受付フォーム
<https://www.yd-design.jp/cafe/maintenance/>



Notes

Notes

C A F É

DISTINCT BY DESIGN™